

校庭芝生化が及ぼす教育環境への影響  
 -その1：維持、普及に関する現状と問題点-

発表者

南 雅樹 米子高専一般科目 教授

概要

校庭芝生化が及ぼす教育環境や地域への影響を、児童・生徒の発育発達および学校教育（体育、学校行事およびPTA活動を含めて）の観点から2つの課題を設定した。

第1に、校庭芝生化実施校の児童を対象とした身体機能に関する測定。第2に、校庭芝生化実施校の学校・PTAにおける校庭芝生化の意識調査について検討。

【研究の背景と目的】

児童・生徒の発育発達や学校教育、地域の公共機関という観点から考えた場合、校庭芝生化の影響やその効果を検証した研究報告は少ないと言わざるを得ない（根拠となるエビデンスがない）。また、校庭芝生化を実施した学校が芝生化を維持・継続する上での問題点や未実施の教育機関における芝生化実施を阻害している要因などに関する検討も現状では十分ではない。

研究実施の初年度は、(1)校庭芝生化の実態把握、(2)校庭芝生化実施校（協力校：東部地区1校、西部地区2校）を対象とする児童の身体機能測定、(3)学校敷地内への芝生化導入に関する意識調査（案）を作成、予備調査を実施し、調査項目・調査票の検討を行った。

【実施した調査、測定結果】

(1) 校庭芝生化の実態把握



校庭ではなく中庭や校庭の一部で実施の学校も。

現地調査から（主に県西部を中心に）、実施割合は1/6程度で境港市は全ての小学校で実施済み。実施形態は様々

(2) 校庭芝生化実施校の児童の身体機能測定

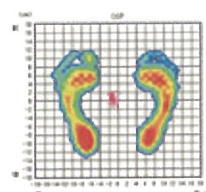


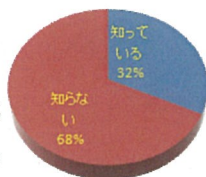
図1 音響的骨評価測定

図2 圧力分布結果(例)

(3) 芝生化導入に関する意識調査票の検討

調査項目

Q.「県が鳥取方式による校庭芝生化の助成事業を行っているのを知っていますか？」



県の校庭芝生化助成事業に関するPTAの認知度はそれほど高くない傾向にある。

音響的骨評価値は、測定実施校では全国標準値よりもやや高い傾向にあり、骨形成への影響が窺われる。足圧分布（浮指の確認）と重心動揺に関しては、測定実施校が1校のため比較検討は次年度の測定データの補充を持って実施する予定。 ※音響的骨評価値のデータに関しては、第50回山陰体育学会において研究発表。

【今後の課題】

- 校庭芝生化実施校への心理的調査、身体機能測定の実施（縦断的データ取得、データの追加）
- 校庭芝生化に関する意識調査〔本調査〕の実施（問題点、改善点の掘り起こしを目的として）

【特許登録／出願情報】 発明の名称：

発明者：

【来場者へのメッセージ】

鳥取方式による教育環境へ芝生化導入の現状把握、問題点を一緒に考えたいと思います。

連絡先： 米子高専 一般科目 教授 南 雅樹

米子市彦名町4448 TEL:0859-24-5069 E-mail: minami@yonago-k.ac.jp

分野

鳥取県環境学術振興事業

プレゼンタイム

有 (無)